

事業の背景・目的

福井県内の里地里山には、希少な水生植物・昆虫等が確認され、水辺の生物多様性が高い場所が多くある。一方で近年、これら希少種の生息地の環境の悪化や、付近に外来生物が侵入すること等により、希少種の生息に影響が生じている。本事業では、坂井市および越前町における希少な水生生物が確認されている特定の地域において、当該希少種の生息状況や他種による影響の適切な把握と情報共有、関係者による保全対策の検討・実施、および地域等への普及啓発活動を行うことで、希少種や生息環境を保全することを目的とする。

事業の内容

令和6年度

●希少種の生息状況の整理

- ・各対象地にて水生昆虫の生息状況の調査、既存情報の整理

→保全の対策方針・方法を検討する基礎資料



●保全対策の体制づくり

- ・地元関係者、地域団体、専門家、行政等による情報共有、意見交換の場を実施

→保全対策（環境整備、外来生物の防除等）を検討



●外来生物の防除の実施

- ・希少種に影響を与えるアメリカザリガニの防除（かご罠・泥掘り等）
- ・今後の対策に向けた関係者調整



●普及啓発（希少種保全の必要性、外来生物の影響）

- ・防除活動を通じた、地元の住民への普及啓発
- ・地域住民への、生息環境維持の方法、外来生物などについての普及啓発チラシ



2～3年目

前年度を受け、

- ・希少種生息状況等の確認
- ・保全対策、防除対策の再検討。地元との調整の上で実施
- ・普及啓発、希少種の生息環境整備の働きかけ

等

得られた成果

- ・各対象地で、本事業で対象とする希少種の生息を確認（調査（7、9、11月）、研究者による調査情報の収集）
- ・地域の関係区長、地域団体等を対象に、希少種・外来生物に関する講義を行ったほか、関係区を対象にした普及啓発チラシを配布（越前町）
- ・地域の子供とその保護者を対象に、アメリカザリガニの防除活動を兼ねた普及啓発の機会を実施（坂井市）

今後、初年度の取組みの効果を希少種調査やアメリカザリガニのモニタリングによって確認の上、保全・防除手法の再検討と合意形成を行い、対策を進める。また、地域住民等への普及啓発活動を引き続き行いながら、実施にあわせた外来生物防除を行う。希少種の生息場所となるような環境の創出がなされていくことが望ましく、地元による今後の継続的な保全活動を見据えた働きかけを行っていく。